

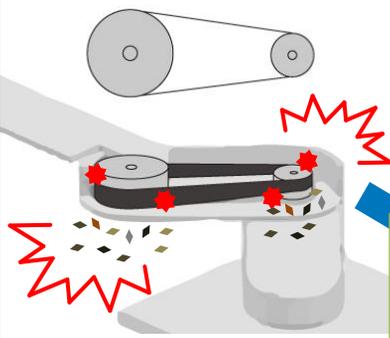
タフラム処理

タイミングプーリーの摩擦で 困っていませんか？

半導体搬送装置のアームに使用している
アルミプーリーにタフラムを適用した事例

問題

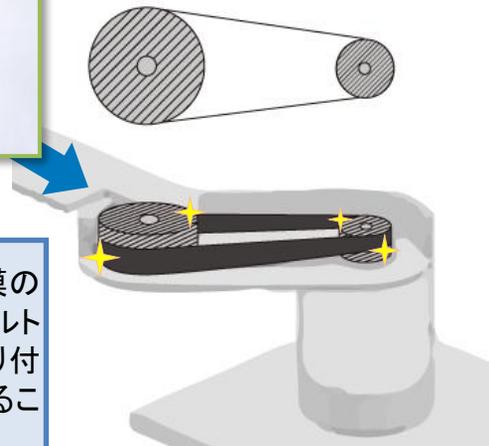
ベルト駆動の搬送アームに使用しているアルミプーリーとベルトの双方が摩擦して、摩擦粉が出る問題が発生していました。



タフラム処理

改善

低摩擦・耐摩擦・滑りに優れた高機能複合膜のタフラム処理をアルミプーリーに施すことで、ベルトとの低摩擦を実現し、摩擦粉を低減、また、張り付きから異音が生じていたが、消音にも寄与することが出来ました。



タフラム処理を採用できる業種（一部抜粋）

- ・各種自動機械（製造ラインの部品など）
- ・半導体搬送装置（搬送部品や搬送ラインの部品など）

部品の長寿命化につながります。
自動機械の安定稼働や信頼性向上にタフラム処理を是非お試しください。

▼ タフラムの詳細についてはこちら ▼

https://www.ulvac-techno.co.jp/service/surface_treatment/lineup/tufram/

▼ タフラム処理のお問い合わせはこちら ▼

<https://www.ulvac-techno.co.jp/inquiry/inquiry06/index.html>

仕様

- ・皮膜組織
Al₂O₃（酸化アルミニウム）
+フッ素樹脂の複合膜
- ・硬度Hv200～400
- ・使用可能温度
220℃（連続可）
- ・膜厚
標準30・50μm
（20・30・40・50）
材質により違いあり
- ・マスクング
対応可能
- ・導通
無し（絶縁皮膜）
- ・厚生省告示第370号
「器具及び容器包装」
の規格試験をクリア
- ・FDA（米国食薬品基準）
対応仕様もあります

【用途】

各種（食品・医薬）
半導体搬送装置